

葉の花



令和2年度 学校教育目標

学び合い 心ゆたかに たくましく

重点目標

「よく聴き よく考え 行動する子」

【授業・職員紹介版①】伊豆の国市立長岡北小学校学校だより R2/8/31号 文責 守野和弘

★★★★「保健指導」・発育測定のと★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

～養護教諭：土屋遥菜先生～

8月25・26日で、全学年対象に発育測定（身長・体重）が行われました。伸び盛りの子どもたちです。数値の変化に顔をほころばせていました。さて、発育測定が終わると、土屋先生から保健に関するお話がありました。

1年生「いいタッチ・わるいタッチ」、2年生「あったかことば・ちくちくことば」、3年生「手洗いのほなし」、4年生「姿勢の話」、5・6年生「ウィルスから体を守ろう」という内容でした。

この指導で大いに活躍したのが**電子黒板**です。例えば3年生への指導では、手洗い前と水洗い、石けん洗いで菌の落ちたようすや残った菌の数が示されました。石けんで正しく30秒手を洗うことがいかに大切か実感していました。また、4年生の姿勢の指



導では、前日までにさりげなく4年生の授業を受けているときの後ろ姿を写真撮影していました。自分のふだんの姿勢が映し出されると、もう人ごとではなくなります。自分のこととして指導を受けていました。そして、よい姿勢は心の健康にも関係することを理解していました。

もう一つ、**手作り教材**が生かされていました。5・6年生に「おしゃべりをしたとき、



せきをしたとき、くしゃみをしたとき、それぞれウィルスはどれぐらい飛ぶでしょう。」と問われ、予想を立てましたが、だいたいおしゃべりは1m、せきは2m、くしゃみは3mということでした。その後、それぞれの長さのテープをもって、子どもたちが座っている中を歩いてみると、かなりの距離まで飛沫が飛ぶことが実感できました。もし飛沫に風邪やインフルエンザなどのウィルスが入っていたら、その中の人は感染の可能性大です。だから、お互いにマスクの着用が必要であることを理解していました。



インフルエンザなどのウィルスが入っていたら、その中の人は感染の可能性大です。だから、お互いにマスクの着用が必要であることを理解していました。

